

令和6年度 福島町立福島中学校

学校評価書



福島町中高生議会（福島アカデミー社会科サークル公開授業）令和6年11月27日

令和7年3月3日

福島町立福島中学校

1	令和6年度自己評価	1
2	令和6年度生徒アンケート	3
3	令和6年度保護者アンケート	4
4	保護者あて報告文書	5
5	令和6年度学校関係者評価	7

令和6年度 学校評価 福島町立福島中学校(教職員・学校運営協議委員用)

※【評価規準】「4」は、100%目標達成 「3」は、70%おおむね達成 「2」は、40%もう少し 「1」は、40%未満できていない

	項目	観点	評 価					成果(○)・課題・改善の方策(△)	評価委員会としての考察	送り先	
			1	2	3	4	平均				
1	教育目標	教育目標・重点教育目標達成のため、教育活動の中で具現化を図って取り組んできた。	0	0	10	4	3.29			R6-R5 ▲ 0.02	
		認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒が育成できる学校となっている。	0	0	13	1	3.07			▲ 0.16	
2	確かな学力の定着 ・教育課程 ・授業改善 ・校内研修	カリキュラム・マネジメントが機能しており、生徒の基礎的・基本的な資質・能力を育成できている。	0	0	10	4	3.29			0.20	
		生徒理解と「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実に向けての指導・支援が積極的に行われている。	0	0	10	4	3.29			▲ 0.02	
		「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が日常的になされている。	0	0	9	5	3.36			0.11	
		研修主題や年間計画は、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動にふさわしく、全員が参加できる体制で研修を適切に進めている。	0	1	5	8	3.50	・授業改善に直接つながる校内研修に移行できたのは良かった。研修内容については、もっとシンプルにしてもいいかも。 ○一人一授業を行い、全員で研修を進めることができていた。 △研修テーマが難解だった。教科や領域を超えて共有できるテーマ設定を考えていきたい。	・今年度の成果と反省をふまえ、全員が参加できるよりよい研修の体制を検討していただく。	学習推進部	▲ 0.04
3	社会的な自立を実現 ・いじめ対策 ・健康安全	温かい人間関係づくりの実現に向けた全校的な支援や、いじめの未然防止・早期発見・早期解決の取組が適切に行われている。	0	0	8	6	3.43	・いじめアンケートと連動した年2回のいじめ撲滅集会は良かった。			▲ 0.19
		健康安全に対する意識を高め、その維持・管理のための正しい生活習慣の育成に努めている。	0	1	11	2	3.07	・健康安全担当による季節や気温に対応した服装等の指導を主体的に進めてほしい。	・今年度の議論や意見をふまえ、指導の在り方について検討を重ねていただく。	生徒指導部	▲ 0.39
		学年・学級経営について、生徒の実態に即し、日々の教育実践に役立つように具体的な計画が作成され、意欲的に推進している。	0	0	11	3	3.21	・1年後2年後を学級経営を主体的に推進している学級担任の先生方の努力に感謝します。一部に残念な状況があるので、意識改革が必要。			0.14

4	代に対応した新しい学校文化の構築 ・学年、学級経営 ・校内組織 ・働き方改革	経営組織における学年、学級、分掌等の職務内容が明確であり、業務を円滑に推進している。	0	0	10	4	3.29	・年度末年度初めの業務についての引継ぎがうまく機能していなかった。引継設定日に確実に業務の引継ぎができるよう計画的に進めてほしい。			0.29
		実効性のある働き方改革推進のために、全教職員ができる範囲での業務改善に取り組んでいる。	1	0	11	2	3.00	・時間を意識した業務改善に取り組んでいきましょう。 △業務に偏りがあるため業務改善に取り組んでも限界がある。	・一人一人が責任をもって主体的に分掌業務を推進する意識をもつとともに、確実に遂行する。	各分掌	▲ 0.08
5	学びと育ちを支える学校づくりと異校種連携	「社会に開かれた教育課程」実現に向けて、福島アカデミーを中心としたPTAやCS、地域、異校種との連携を図っている。	0	0	10	4	3.29	・学習推進部により地域の人材や学習材を教育課程に積極的に取り入れたことはよかった。来年度も無理ない範囲で地域との連携に取り組んで行きたい。 ・PTAやCSは学校のおぜん立てがないと進まない。この現状を何とか変えていきたい。 ・令和7年度は授業研修部担当。福島アカデミーに係る引き継ぎも丁寧に行ってほしい。 ○地域の伝統や文化に関わる活動を行事や総合等に取り入れることができていた。	①【地域連携を図った教育課程】今年度の反省をふまえ、次年度の計画案を出していただく。 ②【関係機関との連携】次年度の運営の在り方を再度検討していただく。	①学習推進部 ②福島アカデミー	▲ 0.02

学校評価(生徒)

番号	質問項目	1年生	2年生	3年生	全校平均	R5	R4
1	あなたは、学校が楽しいと感じている。	3.9	2.9	3.1	3.3	3.0	3.3
2	あなたは、自分で考え、自主的に行動している。	3.2	2.9	3.1	3.1	3.0	3.3
3	各教科の授業では、授業の中で認められる場面があり、自信をもって取り組んでいる。(できるようになってきた)	3.3	2.8	3.1	3.1	3.0	3.3
4	各教科の授業では、目標(ねらい)が示され、振り返りやまとめの時間を十分に確保している。	3.2	3.0	3.2	3.2	3.1	3.1
5	各教科の授業では、自分の意見や考えを他の人に説明したり、発表したりする場がある。	3.3	3.5	3.5	3.4	3.5	3.5
6	あなたは、他の人に思いやりをもって接している。	3.7	3.5	3.3	3.5	3.4	3.5
7	あなたの学級では、いじめがなく、みんな他の人に思いやりを持って接している。	3.6	3.9	3.5	3.6	3.6	3.6
8	学校は、あなたの安全・安心に十分に配慮し、体力づくりや健康づくりに取り組んでいる。	3.8	3.5	3.5	3.6	3.4	3.4
9	あなたは、自分から進んで挨拶をしたり、言葉遣い・時間などの社会的マナーを守っている。	3.5	3.6	3.2	3.4	3.1	3.3

意見

【3年生】

- ・エレベーターをつけてほしい

→エレベーターがあると便利です。しかし、エレベーターの設置には沢山のお金と大きな工事が必要になるので難しいです。

- ・机とイスをもう少し高くしてほしいです
- ・トイレに便座をふく消毒がほしい

→意見ありがとうございます。日常生活で気付いたことは、周りの先生や委員会活動につながるように、日頃から声をかけあえると良いですね。

- ・全体的に挨拶が足りない。

→先生方も指導を続けていきますし、先輩が見本を見せて後輩も見習っていく、そうして気持ちよい挨拶ができる学校を自分たちで作りあげられると良いですね。

分析

全体を通して、過年度から横ばいまたは数値の上昇が見られる(母集団が異なるため、一概に成果とは言い切れないが……)。

自主的な行動、あるいは学力に対する不十分感は、保護者アンケートとも一致している。

授業の在り方については、やや低い数値なので、返答が必要か。社会的な力(9番)については保護者の見解と相違がある。良くできました、と言うよりも、まだまだこれから伸ばしていきたいですね、と言うような一言が分析であった方がよい。

学校評価(保護者)

番号	質問項目	1年生	2年生	3年生	全校平均	R5	R4
1	お子さんは、楽しく学校に通っている。	3.4	3.5	3.3	3.4	3.4	3.5
2	お子さんは、自分で考え、自主的に行動している。	2.9	3.3	3.2	3.2	3.1	3.2
3	学校は学力向上に取り組んでいる。	3.3	3.0	3.5	3.3	3.4	3.2
4	お子さんは、他の人に思いやりをもって接している。	3.5	3.5	3.2	3.3	3.3	3.3
5	学校は、温かい人間関係づくりを心がけ、いじめ問題の未然防止、早期発見、早期解消に積極的に取り組んでいる。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.0
6	学校は生徒の安全・安心に十分に配慮し、体力づくりや健康づくりに取り組んでいる。	3.4	3.5	3.5	3.5	3.3	3.2
7	お子さんは、自分から進んで挨拶、言葉遣い・時間などの社会的マナーが身に付いている。	2.9	3.3	3.2	3.1	3.0	3.1
8	学校は、家庭へ教育活動や生徒の様子を伝えている。	3.9	3.4	3.6	3.6	3.5	3.4
9	学校は、家庭や地域と連携して教育活動を推進している。	3.6	3.3	3.6	3.6	3.4	3.2

意見

- ・地域の伝統を取り入れたのはとても良かったと思いました(芸術祭)
→ご意見ありがとうございます。今後も、地域の方々や文化をはじめとして、地域や保護者の皆様との連携の下、教育活動を推進してまいります。
- ・授業中寝てる子が放置なのはなにか意図があるんですか？
→ご意見ありがとうございます。本校ではすべてのお子様に対し、一人一人の実態に応じた継続的な指導を行っているところですが、本人の健康・生活の状況によって様々な事態が起こりえます。全教員の連携のもと、お子様の日々の様子や変化への目配り、心配りを欠かさず、実態や状況に応じた適切な個別の指導と支援を引き続き継続してまいります。あわせて、お子様同士の関係性の中で、互いに高め合える集団へ成長できる指導・支援も継続してまいります。本校の教育活動推進へのご理解ご協力を今後も賜りますようお願い申し上げます。

分析

全体を通して、過年度から横ばいまたは数値の上昇が見られる(母集団が異なるため、一概に成果とは言い切れないが……)。どちらかというと、我が子の社会的自立に関わる態度に対する不十分さを保護者が感じているため(2,3,7番)、その点についての返答が必要。学校と家庭との連携については、概ね高評価であることから、継続していく旨を伝えていきたい。

福島中学校保護者の皆様

福島町立福島中学校長 助 川 剛

令和6年度「生徒・保護者アンケート結果」について（ご報告）

寒冷の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動推進にご理解、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年12月に生徒・保護者の皆様にお願ひ致しましたアンケートの集計結果が出ましたのでご報告いたします。この結果を貴重なご意見と受け止め、今後、より良い学校づくりのために参考にさせていただきます。ご協力誠にありがとうございました。

【生徒アンケート】 37/37人

アンケート内容		評価数（37名）				平均値(中間25)	昨年度平均値
評価 → 4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない	4	3	2	1			
1	あなたは、学校が楽しいと感じている。	15	17	5	0	3.3	3.0
2	あなたは、自分で考え、自主的に行動している。	9	22	5	1	3.1	3.0
3	各教科の授業では、授業の中で認められる場面があり、自信をもって取り組んでいる。（できるようになってきた）	8	23	6	0	3.1	3.0
4	各教科の授業では、目標（ねらい）が示され、振り返りやまとめの時間を十分に確保している。	9	25	3	0	3.2	3.1
5	各教科の授業では、自分の意見や考えを他の人に説明したり、発表したりする場がある。	19	15	3	0	3.4	3.5
6	あなたは、他の人に思いやりをもって接している。	19	17	0	1	3.5	3.4
7	あなたの学級では、いじめがなく、みんな他の人に思いやりを持って接している。	25	11	0	1	3.6	3.6
8	学校は、あなたの安全・安心に十分に配慮し、体力づくりや健康づくりに取り組んでいる。	23	12	2	0	3.6	3.4
9	あなたは、自分から進んで挨拶をしたり、言葉遣い・時間などの社会的マナーを守っている。	18	17	1	1	3.4	3.1

【生徒アンケートでのご意見・学校からの回答】

- エレベーターをつけてほしい
→エレベーターがあると便利ですよね。しかし、エレベーターの設置には沢山のお金と大きな工事が必要になるので難しいです。
- 机とイスをもう少し高くしてほしいです
- トイレに便座をふく消毒がほしい
→意見ありがとうございます。今回のように日常生活で気付いたことは、周りの先生や委員会活動につながるように、日頃から声をかけあっていきたいですね。
- 全体的に挨拶が足りない。
→先生方も指導を続けていきますし、先輩が見本を見せて後輩も見習っていく、そうして気持ちよい挨拶ができる学校を自分たちでつくりあげられると良いですね。

アンケートからの考察

昨年度と比べた全体的な傾向として、ほぼ横ばいではありますが数値の上昇が見られました。ただ数値の低かった3番・4番について、本校では全校体制でよりよい授業づくりに向けた研修を行っているところです。今後もお子様にとって分かりやすい授業を目指し、授業改善を重ねてまいります。

社会的な自立に関する項目については、2番が低く、一方で9番を見ると、お子様の自己評価が比較的高い結果でした。ただ、保護者アンケートの結果を見ても、まだのびしろがある状況と言えます（裏面参照）。お子様が、多様な人との関わりや経験の中、よりよい自分や生活を実現できるよう、自ら考え、行動につなげていけるような支援や指導に、学校生活全体を通して引き続き努めていきます。

数値が向上した項目については、特に1番が大きく伸び、7番・8番で高い数値が見られました。今後ともお子様にとって安全・安心な環境となるよう努め、学校生活を楽しみながら成長できる学校づくりを進めてまいります。

【保護者アンケート】 33/33家庭

アンケート内容		評価数(名)				平均値(中間2.5)	昨年度平均値
評価 → 4: そう思う 3: ややそう思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない	4	3	2	1			
1	お子さんは、楽しく学校に通っている。	16	14	2	1	3.4	3.4
2	お子さんは、自分で考え、自主的に行動している。	9	20	4	0	3.2	3.1
3	学校は学力向上に取り組んでいる。	13	17	3	0	3.3	3.4
4	お子さんは、他の人に思いやりをもって接している。	14	16	3	0	3.3	3.3
5	学校は、温かい人間関係づくりを心がけ、いじめ問題の未然防止、早期発見、早期解消に積極的に取り組んでいる。	13	17	3	0	3.3	3.4
6	学校は生徒の安全・安心に十分に配慮し、体力づくりや健康づくりに取り組んでいる。	16	16	1	0	3.5	3.3
7	お子さんは、自分から進んで挨拶、言葉遣い・時間などの社会的マナーが身に付いている。	9	19	5	0	3.1	3.0
8	学校は、家庭へ教育活動や生徒の様子を伝えている。	21	11	1	0	3.6	3.5
9	学校は、家庭や地域と連携して教育活動を推進している。	19	12	1	0	3.6	3.4

【保護者アンケートでのご意見・学校からの回答】

- ・地域の伝統を取り入れたのはとても良かったと思えました(芸術祭)
→ご意見ありがとうございます。今後も、地域の方々や文化をはじめとして、地域や保護者の皆様との連携の下、教育活動を推進してまいります。
- ・授業中寝てる子が放置なのはなにか意図があるんですか？
→ご意見ありがとうございます。本校ではすべてのお子様に対し、一人一人の実態に応じた継続的な指導を行っているところでありますが、本人の健康・生活の状況によって様々な事態が起こりえます。全教員の連携のもと、お子様の日々の様子や変化への目配り、心配りを欠かさず、実態や状況に応じた適切な個別の指導と支援を引き続き継続してまいります。あわせて、お子様同士の関係性の中で、互いに高め合える集団へ成長できる指導・支援も継続していきます。本校の教育活動推進へのご理解ご協力を今後も賜りますようお願い申し上げます。

アンケートからの考察

昨年度と比べた全体的な傾向として、数値的にはほぼ横ばいとなりました。
数値の低かった2番・7番は、いずれも社会的な自立に関する項目でした。お子様が、多様な人との関わりや経験の中、よりよい自分や生活を実現できるよう、自ら考え、行動につなげていけるような支援や指導を、学校生活全体を通して引き続き努めてまいります。
学校とご家庭の連携に関する項目(8番・9番)では高い評価をいただきました。引き続き、学校とご家庭との二人三脚で、お子様の成長を支えていければと思います。引き続き、ご理解・ご協力よろしくお願いたします。

大変貴重な評価、ご意見をいただきましたことに感謝いたします。これらを学校へ対する期待と受け止め、保護者・地域より信頼される学校づくりを一層めざしてまいります。

自ら考え、学び、行動する力をお子様が身に付けるためには、学校だけでなくご家庭のご協力が欠かせません。本校とご家庭が同一歩調でお子様の成長を見守り支えていきたいと考えておりますので、引き続き本校の教育活動推進にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。報告を兼ねましてお礼にかえさせていただきます。

【令和6年度福島町立福島中学校学校関係者評価】

学校教育目標 校訓	校訓 明朗 正義 協和
	学校教育目標 ○ 主体的に学び、知識を深めて個性や能力を伸ばす ○ 多様性を尊重し、お互いに高め合う ○ 郷土への愛着と誇りをもち、未来を創造する

目指す学校像	○ 生徒の夢や目標を育む学校 ○ お互いの人間性を認め合い、支え合う学校 ○ 生徒の活躍や変容がみえる学校
--------	---

項目	指導の重点 Plan	目標達成のための具体的な取組 Do	検証方法・指標 Check	成果と課題の具体説明および改善に向けた提案 Action				学校関係者評価			
				【自己評価】		【保護者評価】		評価	A	B	C
				評価	評価	評価	評価				
教育目標	○自らの人生を切り拓くための資質・能力を着実に育成 ○社会の形成者となるための基盤とする力を育成 ○保護者、地域、異校種と本校の方向性共有による、地域とともにある学校づくり ○現状維持にとらわれず新しい学校文化を築く組織体制の確立	◎重点教育目標「認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成（2年目）」具現化のための取組 ・確かな学力の定着 ・社会的な自立を実現 ・学びと育ちを支える学校づくりと異校種連携 ・時代に対応した新しい学校文化の構築	○学校評価（内部評価） ○行事反省（教職員・生徒・保護者） ○学年・分掌反省	教育目標・重点教育目標達成のため、教育活動の中で具現化を図って取り組んでいる。 3	認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒が育成できる学校となっている。 3	お子さんは、楽しく学校に通っている 3	お子さんは、自分で考え、自主的に行動している。 3	4	1		
確かな学力の定着	○学習指導要領に沿った適切な教育課程の実施と授業時数の確保 ○生徒・地域の特性を生かした教育活動の推進 ○探究的な過程を重視した学習の工夫 ○地域人材や地域素材の積極的な活用 ○関係機関・施設・各種学校等との積極的交流による幅広い学習の場の工夫 ○教科横断的な指導計画の整理と工夫・改善 ○主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善や授業力の向上 ○特別支援教育の視点を生かした個に応じた指導の充実 ○努力や成果を認め励ます指導と確かな評価・評定の推進	・学習指導要領に基づく適切な教育課程編成と実施 ・短いスパンでの反省と工夫・改善の取組 ・横断的学習内容の整理 ・総合的な学習の時間の改善と取組 ・地域人材・素材の活用と開発 ・授業力向上への取組と校内研修の充実 ・学習規律の確立へ向けた組織的な取組 ・特別支援教育への理解と研修および個別への対応 ・家庭学習習慣定着と補充学習等への取組 ・学力向上に向けた組織的な取組	○生徒による授業評価 ○諸調査の分析 ○学校評価（内部評価） ○行事反省（教職員・生徒・保護者） ○全体研修会 ○学年・分掌反省	カリキュラム・マネジメントが機能しており、生徒の基礎的・基本的な資質・能力を育成できている。 3 生徒理解と「個別最適学び」「協働的な学び」の一体的な充実に向けての指導・支援が積極的に行われている。 3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が日常的になされている。 3 研修主題や年間計画は、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動にふさわしく、全員が参加できる体制で研修を適切に進めている。 4	学校は学力向上に取り組んでいる。 3	3	3	2			
社会的な自立を実現	○多様な見方や考え方を引き出すための道徳科の全教職員での実践 ○心を見つめ、生き方を考える場や機会の工夫 ○縦割り活動や生徒一人一人の活躍の場を保障する行事・生徒会活動 ○自己実現を支援する進路指導・キャリア教育の系統的・計画的実践 ○ふれあい活動をおとした共感的理解を構築し、職員と生徒、生徒間の相互信頼の育成 ○不登校やいじめ対策等への校内組織化を図った指導・支援体制の充実 ○体力向上とスポーツに親しむ習慣の確立 ○安全教育の計画的な実施 ○家庭と連携した食育の充実 ○避難訓練・性に関する指導・薬物乱用防止教室・交通安全教室	・組織的・機動的な教育相談及び生徒指導体制の確立 ・あいさつ運動、ふれあい活動の充実 ・道徳科の授業を中心とした豊かな心を育む取組の充実・改善 ・生徒会を中心とした自主的活動の活性化(リ-ダ-育成) ・キャリア教育(職業調べ、職場体験学習)の充実 ・携帯・スマホ・ゲーム機器の利用への組織的な指導、啓発 ・いじめの未然防止に向けた課題未然防止教育の取組 ・健康安全配慮に関する啓発活動の取組の充実 ・体力向上への取組の充実と福中オリムピックの充実・改善 ・通学路の点検、校内の安全点検等、危険箇所の排除	○いじめアンケート ○教育相談 ○学校評価（内部評価） ○分掌反省 ○体力テストによる検証 ○行事反省 ○分掌・学年反省	温かい人間関係づくりの実現に向けた全校的な支援や、いじめの未然防止・早期発見・早期解決の取組が適切に行われている。 3 健康安全に対する意識を高め、その維持・管理のための正しい生活習慣の育成に努めている。 3 学年・学級経営について、生徒の実態に即し、日々の教育実践に役立つように具体的な計画が作成され、意欲的に推進している。 3	お子さんは、他の人に思いやりをもって接している。 3 学校は、温かい人間関係づくりを心がけ、いじめ問題の未然防止、早期発見、早期解消に積極的に取り組んでいる。 3 お子さんは、自分から進んで挨拶、言葉遣い・時間などの社会的マナーが身に付いている。 3 学校は体力づくりや健康づくりに取り組んでいる。 4	3	3	4	1		
文新化しい構築校	○現状維持にとらわれない創造的な教育活動の創出 ○学年業務や部活動業務の分担の明確化による校内体制づくり ○保護者との連携強化 ○教師の健康と生徒と向き合う時間の拡充のための業務の効率化	・校務の効率化と勤務時間の適正化 ・学年・分掌の業務分担の確実な実施 ・保護者等との効果的な面談の実施と学校運営への参画	○学校評価（内部評価） ○分掌反省	経営組織における学年、学級、分掌等の職務内容が明確であり、業務を円滑に推進している。 3 実効性のある働き方改革推進のために、全教職員ができる範囲での業務改善に取り組んでいる。 3	4	4	1				
連携	○情報連携・行動連携など、交流や研修をもとに小中高の円滑な接続 ○豊かな心を育成するため小中高と連携して教育活動の工夫・改善 ○保護者や地域住民へ本校教育活動の積極的な公開と発信 ○学校運営協議会制度を活用して教育活動の改善・充実 ○地域人材の積極的な活用 ○関係機関との積極的な連携	・確実な学力、生徒指導情報の交流（学校だより・学級通信・学年懇談会等） ・福島アカデミーの交流行事活用と授業参観交流 ・今年度リニューアルしたホームページの効果的な活用 ・外部関係機関との連携 ・CSと生徒との交流の継続と効果的な学校支援についての熟議 ・地域と学校が協働的に活動するための組織づくり	○参観日等の保護者や近隣小学校・高校関係者による評価 ○保護者・生徒アンケート ○学校関係者評価	「社会に開かれた教育課程」実現に向けて、保護者や学校運営協議会、地域、小中高との連携を深めている。 3	学校は、家庭へ教育活動や生徒の様子を伝えている。 4 学校は、家庭や地域と連携して教育活動を推進している。 4	4	3				

【自己評価】「4」は、100%目標達成 「3」は、70%おおむね達成 「2」は、40%もう少し 「1」は、40%未満できていない

【学校関係者評価】 A：評価は適正 B：評価は概ね適正 C：要改善

※2, 1の評価については課題や改善点について、下記の欄に必ず記述願います。

○新聞報道によれば、函館で不登校等の児童・生徒が増加気味と報道されているが、当中学校では学校関係者の未然防止活動により適正に行われていると評価します。また、学校通信「福島中だより」の発行により、学校・生徒の様子がわかり、地域住民から好評を得ていると思います。
■通学路の点検や学校内の修繕を、学校全体から福島町に要望してほしい。